

四大公害病資料館の『語り部による伝承会』を開催しました。

9月26日（土）、四大公害病の『語り部による伝承会』を開催し、県内外から約50名の方々に参加していただきました。

前半の語り部講話では、水俣市立水俣資料館の永本賢二さん、新潟県立環境と人間のふれあい館の山崎昭正さん、四日市公害と環境未来館の山本勝治さん、そして地元イタイイタイ病資料館の青木有明さんにご自身の貴重な体験について語っていただきました。

講話の中では、公害発生地域が抱える特殊な事情や長い間患者や家族に向けられてきた差別や偏見の実態、公害発生当時の社会的な背景や地域の暮らしの様子などが、4人の語り部それぞれの体験に基づいて語られました。

後半では、講話していただいた4人の語り部とイタイイタイ病対策協議会の高木勲寛会長、資料館の鏡森館長による意見交換会を行いました。意見交換会では、それぞれの語り部の方が語り部になろうと思った理由や、自身の講話の中で聴講者に特に伝えたい事柄についてもお話ししていただきました。お話の中では、語り部の活動を通して、住民の中に今もなお存在する公害病に対する誤った認識を少しでも無くしていきたい、未来を担う子どもたちに公害の教訓を語り継いでいきたいという強い思いもお話しされました。

意見交換会の最後には、イタイイタイ病対策協議会の高木勲寛会長から語り部への期待も踏まえて、ご意見を賜りました。

今回の伝承会では、四大公害病が引き起こした悲惨な被害と公害克服に向けた取り組みや公害の教訓を次世代に伝えつないでいくために各地の資料館が今後も連携していくことを確認すると共に、悲惨な公害を二度と引き起こしてはならないという思いを参加者の皆様全員で共有する機会となりました。



館長の挨拶



意見交換会

『資料館だより 2015年 秋号』を発行しました。

平成27年4月以降の資料館での出来事や活動状況、行事予定などをお伝えする機関誌『資料館だより 2015年 秋号』を発行しました。

秋号では、主な事業として4月に実施した春の特別企画展『立ち上がった住民、取り戻した清流～リーダー小松義久と共に～』や『来館者10万人達成記念セレモニー』の様子、さらに8月の子ども向け夏休み企画『自由研究講座』、『イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』の様子についても参加者の感想などを交えてご紹介しています。

このほかにもイタイイタイ病の教訓継承のため、資料館が進めている新たな取り組みや資料館で活躍いただいている語り部、小松雅子さんを紹介するコーナーなど盛りだくさんの内容となっております。

この「資料館だより」は、年2回（春・秋）発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館ホームページからも閲覧できます。

「資料館ホームページ」(URL <http://itaitai-dis.jp>)



(表面)



(裏面)

